

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	電線類地中化事業						継続			
コード	24	-	70	-	04	-	00	予算事業名	電線類地中化	
担当部署	建設部	道路環境整備課				予算事業コード	会計 10	款 08	項 02	目 02

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)		位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	電線類地中化
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築	個別計画等の名称	なし
施策	1	道路交通体系の整備	当事業に関連する事務事業	なし
細施策	3	安全で人にやさしい生活道路の整備		
事業実施の根拠となる法令・条例等	道路法、電線共同溝法			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	電線類地中化箇所において、市民からの電力・通信の供給・撤去などの要望に対応し、市民ニーズに答える。市道0009号線の電線類地中化を推進し、安全で快適な道路環境を整備する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	市民からの電力・通信の供給・撤去などの要望があった箇所について、工事委託により管路を築造する。市道0009号線に街路灯を設置したり、電柱を抜いた後の歩道の整備をする。横断電線を所有する業者に撤去を依頼する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	101,405	97,360	22,969	51,226	20,407	
(25年度予算額大幅増/減の理由)	平成21・22年度には市道0009号線街路灯設置工事にかかる予算額、平成24年度には市道0001号線における架空横断電線撤去に対する補償金額が大きかったため。					
事業費 A	88,528	94,373	18,547	47,333	20,407	8,407
人件費 B	11,006	11,006	11,006	11,006	11,006	11,006
総コスト(C=A+B)	99,534	105,379	29,553	58,339	31,413	19,413
正規職員(1年間の従事人数)	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	19,500	14,400	0	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	80,034	90,979	29,553	58,339	31,413	19,413

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	電力・通信の引込・撤去工事件数	6	2	1	5	4	26年度 4
	指標の定義・説明	自治体管路による電線類地中化箇所における電力・通信の引込・撤去工事件数					
成果	市道0009号線街路灯設置工事	30	18				年度
	指標の定義・説明	市道0009号線における街路灯設置数					
成果	市道0009号線歩道整備工事				160	160	年度
	指標の定義・説明	市道0009号線における歩道整備延長					
成果	市道0001号線横断電線切回しに伴う補償				6		年度
	指標の定義・説明	市道0001号線において事業者が行った架空横断電線撤去工事に対する補償件数					
指標に基づく評価	電力・通信の引込・撤去については、市民からの要望に対して処理することができている。市道0009号線については平成25年度の完成に向けて着実に進行している。市道0001号線については横断電線の撤去がほぼ完成し、山車のスムーズな運行に寄与できた。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	課題はない
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	電線類地中化箇所において市民から電力・通信の供給の申し込みがあった場合に対応ができなくなる。

# 平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		建設部				道路環境整備課		
事務事業名称		24	70	04	00	電線類地中化事業		
今後3年間の方向性	25年度	継続						
	26年度	継続						
	27年度	継続						